

# 報告書抄録

ふりがな	かみとやまいせき							
書名	上砥山遺跡							
シリーズ名	滋賀県文化財保護協会調査報告							
シリーズ番号	第7集							
編著者名	内田保之							
編集機関	公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2							
発行年月	令和8年(2026年)3月							
ふりがな	ふりがな	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
かみとやまいせき 上砥山遺跡	しがけん 滋賀県 りっとうし 栗東市 かみとやま 上砥山	252107	208-086	36度 0分 34秒	136度 0分 44秒	20181130 ) 20200108  20210930 ) 20211129	6,944.05m <sup>2</sup>	一般国道1号 栗東水口道路建 設事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
上砥山遺跡	集落跡	飛鳥時代 ) 奈良時代		河道 掘立柱建物 土坑		須恵器・土師器 木製品・石製品		木簡・転用硯・ 墨書土器・不 良須恵器
	集落跡	平安時代後期 ) 鎌倉時代		溝		土師器・黒色土器・ 輸入磁器		
要約	<p>飛鳥時代から奈良時代にかけての河道や掘立柱建物などを検出し、特に河道からは多量の須恵器や土師器などとともに豊富な木製品が出土した。それら出土遺物の中には、木簡や墨書土器などの文字資料や硯類、祭祀具とみられる琴柱や土馬も複数点存在する。これらの出土遺物から、上砥山遺跡とその周辺地域には、文字を日常的に使用する階層の人物の存在が確認されるとともに、官衙などの公的施設が存在していたことが窺える。また、出土した須恵器の中には、歪んだものも多く含まれており、周辺部で確認されている須恵器窯との関連も窺える。</p>							